

問1 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 遣隋使
2. 渡来人
3. 御家人
4. 防人

問2 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。
2. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。
3. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。
4. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。

問3 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)

1. 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした
2. 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした
3. 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた
4. 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した

問4 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の新井山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)

1. 天皇
2. 執権
3. 大王
4. 將軍

問5 大和政権が朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ人々を厚遇し、積極的に組織へ組み込んだ理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 遣唐使を派遣する代わりに、大陸の役人を招いて日本の政治制度をすべて中国風に改めるため
2. 狩猟採集中心の生活から、初めて稲作を中心とする社会へと移行させる必要があったため
3. 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため
4. 地方の豪族が持っていた鉄器の製造技術を独占し、天皇の権威を否定させるため

問6 5世紀ごろの古墳からは、鉄器の材料となる「鉄の延べ板」が数多く出土しており、朝鮮半島から移住してきた人々がもたらした技術の高さがうかがえます。これら渡来人が当時の日本（ヤマト王権）に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 平城京を中心に商業が発展し、全国で和同開珎などの貨幣が日常的に使われる経済構造へと変化した。
2. 遣隋使が派遣されたことで、中国の優れた官僚制度がそのまま導入され、即座に律令国家が完成した。
3. 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。
4. 仏教が初めて伝来したことにより、それまで行われていた古墳の築造が全国で一斉に禁止され、寺院建築に移行した。

問7 古墳時代の日本（倭）が朝鮮半島や中国大陸の諸王朝と活発に交流していたことを示す証拠について、群馬県の綿貫観音山古墳などの出土品から読み取れる共通点として最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 縄文時代以来の伝統である大型の磨製石斧や、日本列島固有の黒曜石製品が大量に出土する点
2. 遣隋使が派遣されるまで大陸との交流は完全に途絶えており、仏教に関する文物のみが特例として見られる点
3. 江戸時代の鎖国政策の影響により、大陸由来の文物が一切見られず、日本独自の土器のみが発達している点
4. 朝鮮半島の高句麗や百濟、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点

問8 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)

1. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権
2. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権
3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利
4. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可

問9 埼玉県にある稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた金錯銘鉄剣が出土した一方で、熊本県にある江田船山古墳からも同様に大王の名が記された鉄刀が見つかっています。これらの発見から推測される、5世紀後半における大和政権の状況として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)

1. 朝鮮半島から伝わった鉄器の製造技術が、関東地方でのみ独占されていた。
2. 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。
3. 大和政権の本拠地が、近畿地方から関東地方へ移転した。
4. 九州地方と関東地方の豪族が連合して、大和政権に対抗していた。

問10 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれているとされる遺物はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

1. 近畿地方で多く見つかった銅鐸
2. 装飾が施された石包丁
3. 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀
4. 漢の皇帝から授けられたとされる金印

問11 古墳時代の大仙古墳やその出土品について述べた文章として、正しいものを1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)

1. 大仙古墳は弥生時代に造られた日本最大級のお墓である。
2. 大仙古墳などの副葬品には金属器は含まれず、土器のみが納められた。
3. 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。
4. 大仙古墳からは、副葬品として縄文時代と同じ土偶が出土している。

問12 古墳時代から奈良時代にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に新しい文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)

1. 防人
2. 南蛮人
3. 渡来人
4. 遣唐使

答え合わせ・解説

問1	答え 2 渡来人	大陸での争乱を避けるために日本に移り住んだ、あるいは大和政権に招かれた人々を指します。彼らは土木、養蚕、機織り、金属加工などの高度な技術のほか、漢字や仏教、儒教といった思想・文化をもたらし、日本が国家としての形を整える上で重要な役割を果たしました。
問2	答え 3 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。	ヤマト王権の王たちは、中国の皇帝から「安東大將軍」などの高い称号を得ることで、日本国内における絶対的な権威を確立しようとしていました。また、当時の朝鮮半島では高句麗や新羅、百済が対立しており、その中での軍事的な優位性を国際的に承認させる狙いもありました。
問3	答え 1 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした	ヤマト王権が全国的な影響力を強めるためには、朝鮮半島や中国大陸との外交、あるいは国内の物資輸送に欠かせない海上交通路を掌握することが不可欠でした。山口県のように瀬戸内海沿岸の重要な地点を治める豪族に対し、権威の象徴である銅鏡を与えることで味方につけ、安定した航路の確保と地方への影響力行使を両立させていたと考えられます。なお、卑弥呼の時代は3世紀であり、この問題が扱う4～5世紀とは時代が異なります。
問4	答え 3 大王	5世紀の大和政権の盟主は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県 の 稲荷山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇にあたるとされる「獲加多支鹵（ワカタケル）」の名とともにこの称号が刻まれており、当時の政治体制を示す貴重な史料となっています。天皇という称号が使われ始めるのは、さらに後の7世紀後半（飛鳥時代）になってからです。
問5	答え 3 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため	大和政権は、渡来人が持つ先進的な技術（鉄器製作、灌漑などの土木、織物）や知識（漢字による記録、儒教、仏教）を独占・管理することで、他の有力豪族に対して優位に立とうとしました。これらの技術は、巨大古墳の造営や農地の拡大、組織的な統治に欠かせないものでした。
問6	答え 3 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。	渡来人が伝えた鉄器の製造技術は、それまでの木製や石製の道具に比べて耐久性と効率を飛躍的に高めました。これにより、大規模な治水工事や開墾が行われて農業生産力が増大し、その経済力を背景に大王（ヤマト王権）を中心とする支配体制の基盤が強化されることにつながりました。
問7	答え 4 朝鮮半島の高句麗や百済、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点	古墳時代の日本列島は、地理的に近い朝鮮半島の高句麗・百済・新羅・加耶、および中国の南朝や北朝と活発な交流を持っていました。その具体的な証拠として、群馬県 の 綿貫観音山古墳をはじめとする各地の古墳から、大陸や半島の影響を強く受けた「銅製水瓶」や「馬具」などの文物が共通して出土しており、当時の国際的なネットワークの広がりを示しています。
問8	答え 2 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讃・珍・済・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることだけでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。
問9	答え 2 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。	関東（埼玉県・稲荷山古墳）と九州（熊本県・江田船山古墳）という遠く離れた地域の双方から、大和政権の王であるワカタケル大王の名を記した遺物が見つかったことは、当時の政権の政治的影響力が日本列島の広範な地域に及んでいたことを証明する重要な歴史的事実です。
問10	答え 3 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀	5世紀の大和政権の王（大王）は、支配下に入った地方の有力者に対して、その地位を認める証として名前を刻んだ刀剣などを与えました。埼玉県（稲荷山古墳）や熊本県（江田船山古墳）といった遠く離れた地域の有力者の墓から、同じ王の名が刻まれた遺物が見つかったことは、政権の勢力が関東から九州まで及んでいたことを裏付ける重要な証拠となっています。
問11	答え 3 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。	大仙古墳は古墳時代に造られた日本最大の前方向後円墳であり、その周囲には埴輪が並べられました。土偶は縄文時代の遺物であり、古墳の副葬品には銅鏡や鉄剣などの金属器も含まれます。
問12	答え 3 渡来人	朝鮮半島での戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは、ため池を作る土木技術や金属加工、機織りなどの実習的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教などの思想や文化も日本に伝え、日本の社会や国家の形成に大きな役割を果たしました。